

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業計画書（収益性向上対策）

都道府県名 山形県

1 成果目標

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												スマート農業推進 策 導入・定着の取 組の実施内容	事後評価の検証方 法(※定量的な検証 ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
					現状				目標				実績									
					年 度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年 度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年 度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位	年 度	面積 単位	生産量、出荷量 又は処理量 単位						
河北町農 業再生協 議会	6	月山堂	水稻	現在は、法人構成員がそれぞれ自前の乾燥設備で乾燥調整を行っており、経営及び労働力の面で大きな負担となっている。そのため、法人として乾燥調整施設を整備することで、経費の削減及び経営面積の拡大を図る。	生産コストの10%以上の削減 【水稻10.1% 減、大豆 15.3%減】	R1	101,310円/10a	37.9 ha	238 t	R4	91,095円/10a	50 ha	319.7 t	R5	109,854円/10a	40.11 ha	232.74 t	-83.6%	目標の生産コストの削減について、近年の生産資材の高騰による肥料費や動力光熱費、作業委託費の大幅な増額及び土地改良費の見込み違いにより目標未達成となった。当地域協議会では西村山農業技術普及課と連携したコスト削減の指導を行うことや、生産コストの低減方法に関する研修会等の情報を取り組み主体へ随時共有することでコスト削減の取り組みを推進していく。	R6評価		
			大豆		R1	72,543円/10a	22.6 ha	59.8 t	R4	61,463円/10a	25 ha	67.5 t	R5	77,428円/10a	27.62 ha	73.26 t	決算資料より算出					
新庄市農 業再生協 議会	5	新庄地区	水稻	①経営規模の拡大に伴い高性能農業機械を導入し、作業効率を高め、労働費を削減する。 ②生産に必要な肥料や農薬といった資材の購入方法や作業方法等を見直し、物財費を削減する。 ③フレコン出荷に係る労働時間・紙袋資材等の削減 ④農地中間管理事業を活用し、農地の集積に取り組み、生産コストの削減を図る。	生産コストの10%以上の削減【10.9%削減】	R1	117,953円/10a	77.6 ha	372 t	R5	105,132円/10a	96.6 ha	453 t	R5	96,492円/10a	110.6 ha	524 t	167.4%	規模拡大を目指した農地集約により構成員の経営面積は拡大。増加した面積に対する、本事業で導入した高性能機械での作業効率向上に伴う労働費等の削減が実現され目標となる10a当たり生産コストの10%以上削減を達成。	導入した高性能機械を活用し、面積を拡大しても生産コストを削減、目標達成している。令和元年度と令和5年度を比較しているか確認する。所得報告書申告決算書、営農計画書、作業日誌等により生産コストの削減を検証する。	R6評価	
新庄市農 業再生協 議会	7	泉田	ねぎ	①水稻経営から、高収益な畑作への転換を拡大するため、農地中間管理機構をとおした耕作地において、ねぎの生産を拡大 ②圃場の特性を見極めた土づくり、移植、中耕培土、追肥等の適正な生産技術の向上を図り、上位等級比率及び反収の増加による販売額の増加 ③移植機、管理機、防除機、収穫機の新規導入を図り、効果的な生育状態を確保し、収量増による販売額の増加 ④機械の導入を契機に作業効率の向上を図ることで、資材や資産の経費削減と、雇用体系の平準化等によるコストの削減	生産コストの10%以上の削減(22.9%の削減)	R2	796千円/10a	2.9 ha	82 t	R5	614千円/10a	3.6 ha	122 t	R5	593千円/10a	3.6 ha	57 t	111.5%	燃料費、資材価格等高騰の影響を受けたが、事業により導入した機械を活用し、収穫・選果作業を効率化することで生産コストを削減させた。目標を達成した。面積についても計画通り拡大できたが、記録的な高温少雨の影響により収量は減少している。今後は荒しい時間帯に土寄せを終わらせ、効率的な生産体制を維持するなど計画的に作業することで出荷量の増加を図りつつ、引き続き効率的な生産を行っていく。	決算報告書、営農計画書、作業日誌等により生産コストの削減を検証する。	R6評価	

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												スマート農業推進枠 導入・定着の取組の実施内容	事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
					現状			目標			実績											
					年度	面積 単位	生産量、出荷量、 又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量、 又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量、 又は処理量 単位									
舟形町農業再生協議会	16	ハリヨ、沖の原	水稻	①密苗田植機及びコンバイン等を共同利用することにより、機械経費等の削減を図る。 ②ドローン防除により省力化、低コスト化、労力軽減を図る。 ③肥料等の資材を一括購入に切り替えるなどして資材費の削減を図る。 ④農地中間管理事業を活用し、農地の集積に取り組み、効率的作業体系を確立して生産コストの削減を図る。	生産コストの10%以上の削減 【10.6%削減】	R1	110,080円/10a	15.0 ha	64.3 t	R5	98,431円/10a	17.9 ha	95.3 t	R5	86,781円/10a	21.4 ha	71.7 t	200.0%	栽培面積の拡大やコスト削減に取り組んだため、目標を達成することができている。引き続きコスト削減に取り組んでいくよう指導していく。	目標は達成したが、資材が高騰していることから、引き続き、疎植や密播による移植方法や施肥設計の見直しを支援していく。	R6評価	
真室川町農業再生協議会	11	川ノ内	水稻(古代米/朝紫・米粉用米)	①古代米/朝紫と米粉用米の増産による規模拡大とともに生産コストの削減を図る。 ②高性能機械導入により、作業の効率化、労働時間の短縮を図り、面積拡大に対応する。 ③収量が高い品種の作付けにより10a当たりの収量を向上させ、10a当たりの販売金額の向上を図る。 ④肥料メーカーとの直接取引により、高い品質で低いコストのオリジナル高度化成肥料を導入し、10a当たりの生産コスト低減を図る。	生産コストの10%以上の削減 【13.7%】	R1	109,540円/10a	10.0 (朝紫: 3.0 米粉: 5.0 主食用: 2.0) ha	朝紫: 8,100 米粉: 32,300 主食用: 26,200 kg	R5	94,486円/10a	15.5 (朝紫: 4.0 米粉: 9.6 主食用: 1.9) ha	朝紫: 8,910 米粉: 35,530 主食用: 24,890 kg	R5	121,883円/10a	13.2 (朝紫: 3.9 米粉: 9.3) ha	朝紫: 8,940 米粉: 47,600 kg	-11.3%	決算書等により生産コストの削減を検証する。	機械導入したが、生産コストの削減に繋がっていない。目標達成に向け、今後は基本技術の見直しを図るとともに、普及課と連携して生産コスト増の原因把握とその対策について支援していく。	R6評価	
鶴岡市農業振興協議会	18	柳引	水稻	・高性能機械(コンバイン)のリース導入により作業効率を高めて10a当たり労働時間を削減する ・農地の賃借等による農地集積と規模拡大を行う ・肥料や農薬を安価なものに切り替え、物材費を削減する	生産コスト10%以上の削減 【10.1%削減】	R2	88,546円/10a	31.54 ha	172,849 kg	R5	79,627円/10a	35.00 ha	185,500 kg	R5	103,599円/10a	32.87 ha	139,251 kg	-168.8%	決算報告書及び作業日誌等の関係資料による。	物価高騰があり、資材の見直しを行いコスト削減に取り組んでいるが、思うように効果が表れない結果となっている。また、労力削減を図るため、肥料を1回散布のものに変更したことで肥料費が増加した結果、コスト削減に至らなかった。今後、更に面積拡大を図りながら、土壌診断に基づく適正施肥を数年計画で実施し、肥料の使用量を見直すことでコスト削減に向けて取り組む。	資材や燃油料等の高騰の影響は大きく目標未達となった。今後、目標達成に向け経営面積の集約化に伴う労働時間の削減や、施肥設計や防除体系の見直しによる資材費の削減により、更なるコスト削減に取り組むよう指導していく。	R6評価

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標																地域(県又は国を含む) の価格(販売単価)		補正係数	価格補正 後の実績	事後評価の検証方法 (※定量的な検証が できること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	評価		
					現状				目標				実績				事業実施 前年度				目標年度										
					年度	面積 ha	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単 価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 ha	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単 価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 ha	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単 価) 単位	生産コスト 単位	事業実 施前年 度	目標年 度	事業実 施前年 度								目標年 度	
大鹿村農 業再生協 議会	6	新庄市 真室川町 大鹿村 結川村 戸沢村	ミニトマ	選果施設に隣接した予冷施設を整備することで、出荷するミニトマトの品質向上及び変動の激しい市場相場に合わせた出荷を実現し、単価向上及び販売金額の向上を図る。	総販売額の 10%以上の増 加【13.4%の増 加】	R1	268,302千円	7.28 ha	424 t	632 円 / kg	R5	304,291千円	7.78 ha	467 t	651 円 / kg	R5	328,717千円	6.9 ha	364 t	904 円 / kg	724 円 / kg	917 円 / kg	0.790	259,657千円	もがみ中央農業協同組合の販売額を向上させる。	-24.0%	<p>体弱不良等の農産物による生産者数の減少や、令和5年度の記録的な猛暑の影響により生産量は大幅に減少したが、単価は近年にない高値での販売となったことで販売金額は前年度を上回った。しかし、生産量の減少の影響で目標を達成することはできなかった。</p> <p>今後は、農林大学校(新庄市所在)等の学生向け就職機会に積極的に参加し、地元への就職を促すとともに、雇農者の確保に資するため、新規就農者が再雇用できるようなりなどとして、新規就農者の確保に努め、面積拡大を図る。また、天候等に対するリスクを考慮した上で生産管理を徹底し、更なる生産量の拡大を図っていく。</p>	R6評価			
高島町農 業再生協 議会	5	高島町鹿 代地区	水稲	①マニアスプレッドを導入し、堆肥散布の共同作業を進めることにより、作業効率を高め堆肥散布面積の拡大並びに生産コストの削減を行う。 ②堆肥散布による地力向上により、生産量の増加と品質の向上を図る。 ③環境に配慮した生産手法による付加価値の向上により、取引先との有利販売につなげることで、販売額を増加させる。	販売額の 10%以上の増 加【10.3%増 加】	R2	145,311円/10a	30.5 ha	141,570 kg	18,784 円 / 60 kg	R5	160,370円/10a	30.5 ha	155,727 kg	18,846 円 / 60 kg	R5	147,855(円/10a)	34.2 ha	162,090 kg	18,718 円 / 60 kg	259 kg	271 kg	0.956	141,365円/10a	決算報告又は申告書に用いる各種書類の横断により算出	-26.2%	<p>高温少雨の影響を受け、販売額の向上には至らなかった。</p> <p>高温少雨への対策として、県で作成した「高温少雨対策マニュアル」を取り組む主体にも共有しながら、マニアスプレッドを用いた土壌の対策や、適期防除、適切な水管理等を行うよう指導していき、また、農と連携しながら、刈り遅れによる品質低下などで、販売額の増加を図る。</p>	R6評価			
鶴岡市農 業振興協 議会	10	羽黒 郷引	露地野菜 (アスパラ ガス)	・長根立茎栽培技術の導入、倒伏防止資材の設置による株養成の充実により、収穫量の増加を図る。 ・圃場排水性の向上、土づくりや防除等の栽培管理の徹底により、収穫量の増加を図る。	総販売額の 10%以上の増 加【504.3%増 加】	H 30	1,681,499円	1.5 ha	アスパラガス 1638.5 kg	アスパラ ガス 1026.2 円 / kg	R5	10,161,569円	1.945 ha	アスパラガス 11312.0 kg	アスパラ ガス 898.3 円 / kg	R5	4,240,491円	1.488 ha	アスパラ ガス 3303.6 kg	アスパラ ガス 1283.6 円 / kg	1,264 円 / kg	1,318 円 / kg	0.959	4,066,400円	J-A精通書等による販売額の検証を行う。	28.1%	<p>当初の計画よりも面積拡大の取組みに遅れを生じており、その影響で出荷量や販売額が伸びなかった。</p> <p>一部圃場については、土壌病害の発生により前期定植した株が上手く生育しなかったことから、R5圃場に計上できなかったものの、既にR6に改めて定植を行っており、R7からの収穫を予定している。</p> <p>また、株の老化に伴い、生産量が低下した圃場もあつたが、R5から計画的に別圃場への定植を進めており、面積拡大が実現されている。</p> <p>定植を行った圃場において連作障害が認められるよう、農普及課等関係機関の指導を受けながら病害対策及び栽培管理を徹底し、出荷量の確保、販売額の増加を図っている。</p>	R6評価			
鶴岡市農 業振興協 議会	17	鶴岡 豊田	スベ リーフ、 ミニトマ	・農業機械のリース導入、パイプハウスの整備により作付面積を拡大する。	総販売額の 10%以上の増 加【144.3%の増 加】	R2	27,241,651円	0.87 ha	14,253 kg	1,911 円 / kg	R5	66,542,394円	1.18 ha	35,238 kg	1,888 円 / kg	R5	57,061,648円	1.28 ha	26,349 kg	2,166 円 / kg	1,402 円 / kg	1,688 円 / kg	0.831	47,426,777円	決算報告書等の関係資料による(「SHONAI ROOTS」豊田地区の販売額)。	51.4%	<p>ミニトマトについては、病害の対策を講じたものの被害がなくならなかったことから、R5年は全てベニコープの作付けとした。</p> <p>目標を上回る面積拡大が図られているが、土壌病害や夏場の高温による水不足により収穫量が伸びなかったため、これまでの水不足の影響が大きい。目標達成には至らなかった。</p> <p>水不足が、立ち枯れや虫害についても被害等を行うことで被害の拡大を抑制し、安定生産を促すための適切な栽培管理のほか、より収益性の高い栽培スケジュールを模索することにより目標達成を支援していく。</p>	R6評価			

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標		地域(県又は国を含む) の価格(販売単価)												事後評価の検証方 法(※定量的な検 証ができるこ と。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	評価					
					年度	現状				年度	目標				年度	実績								事業実施 前年度	目標年度	補正係数	価格補正 後の実績	
						面積 ha	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位		面積 ha	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位		面積 ha	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位										生産コスト 単位
酒田市農 業再生協 議会	13	酒田市 追分町	アスパラ ガス	集出荷施設の整備による生産量・出荷量の増加及び 高品質化	H 30	873.3千円 /10a	2.8 ha	アスパラガス 17.616 kg	アスパラ ガス 1.076 円/ kg	R 5	1,100千円 /10a	5 ha	アスパラガス 85,000 kg	アスパラ ガス 1,100 円/ kg	R5	1,462,3千 円/10a	5.01 ha	アスパラ ガス 50,126 kg	アスパラ ガス 1,462 円/ kg	1,071 円/ kg	1,310 円/ kg	0.818	1,196.5 千円 /10a	販売伝票の安全に よる販売額の検証	142.6%		夏の高温の影響で収穫量 こそ目標値を下回ったも の、高品質な生産により 引き続き関係機関と連携 しながら、高温対策も含 めた適切な栽培管理に係 る研修会の開催やミニ マル配布等を行い、高品 質生産の維持のほか、収 穫量の安定確保が図られ よう指導していく。	R6評価
酒田市農 業再生協 議会	14	浜中	ケイトウ	バイハウス資材及び機械導入による生産量の増加 と、品質の向上を図る	H3 0	1,199千円 /10a	3.08 ha	556,480 本	66 円/ 本	R5	1,400千円 /10a	3.6 ha	720,000 本	70 円/ 本	R5	1,334千円 /10a	4.35 ha	744,270 本	78 円/ 本	51 円/ 本	72 円/ 本	0.708	944千円 /10a	販売伝票の安全に よる販売額の検証	-126.9%		目標を上回る面積拡大が 図られているが、夏場の 高温で葉焼け・花焼け等 増えたことで、生産量の 増加を期したが、夏場 の高温により予定より上 荷数量が伸びず単収が上 がらなかった。高温対策 を行い、目標達成を目指 す。	R6評価
酒田市農 業再生協 議会	15	浜中	ほうれん 草・ミニ トマト・ ねぎ	バイハウス資材及び機械導入による生産量の増加 と品質向上を図る	R2	736千円/10 a	4.72 ha	75,133 kg	462 円/ kg	R5	827千円/10 a	5.2 ha	90,880 kg	473 円/ kg	R5	603千円 /10a	5.2 ha	62,882 kg	499 円/ kg	ほうれん 草 557円 ミニトマ ト 650円 ねぎ 307円	ほうれん 草 598円 ミニトマ ト 733円 ねぎ 364円	ほうれん 草 0.931 ミニトマ ト 0.887 ねぎ 0.843	545千円 /10a	販売伝票の安全に よる販売額の検証	-209.9%		ほうれん草は栽培期間を 通して高温が続き、細い ものが多くなり、出荷数 量が減少した。 ミニトマトは、高温によ り着果不良が発生し、出 荷数量が減少した。 ネギについては、高温に よる生育遅延や品質低下 により出荷数量が減少し た。 今後は、専業農技術普及 等の関係機関と連携し、 各品目に合わせた高温 対策(ミニトマト・ほう れん草は遮光資材を) うれん草は遮光資材を ける、ネギは早朝の涼し い時間に少量の土寄せを 行う(など)も旨めた販 増管理の徹底、高温耐 性品種への積極的な転換 等により出荷量増加を目 指す。	R6評価

(3) 契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												事後評価の検証方法 (※定量的な検証が できること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	評価			
					現状				目標				実績											
					年度	面積 単位	総生産量又は 総出荷量 単位	契約取引量 単位	年度	面積 単位	総生産量又は 総出荷量 単位	契約取引量 単位	年度	面積 単位	総生産量又は 総出荷量 単位	契約取引量 単位								
河北町農 業再生協 議会	5	河北町	水稲	①収量・水分測定を測定できるアグリサポートを装 備したコンバインや高機能トラクターや作業機の導入 により、実需者が求める高品質な米の安定供給を実現 して契約栽培米比率59.5%以上を実現する。 ②農地中間管理機構を活用して規模拡大を図る。	R1 契約栽培の 割合10%以上の 増加かつ 50%以上とす る事【24.8% の増加】	R1 契約栽培の 割合34.7%	35.7 ha	209,502 kg	72,762 kg	R5 契約栽培の 割合59.5%	R5 契約栽培の 割合67.2%	42.5 ha	250,500 kg	149,130 kg	R5 契約栽培の 割合67.2%	37.3 ha	203,000 kg	136,467 kg	契約出荷先との出 荷明細と総生産量 の割合にて算出。	131.0%	契約率の目標は達成する ことができていますが、面積、 総生産量、契約取引量につ いては計画より下回ってい る。農用地利用調整会議等 に参加することで農地情報 を収集し、また、中間管理 機構等を積極的に活用する ことによる更なる農地の獲 得により、生産量および契 約取引量を増やし、計画の 数値の達成を図る必要があ る。	契約栽培の割合は達成した が、作付面積が目標に達し ていない。契約取引量の増 加及び作付面積の拡大に務 めるよう高品質米生産のた めの指導をしていく。	R6評価	
新庄市農 業再生協 議会	6	小月野 月岡	水稲	①ライスセンターの新設により、生産規模の拡大に対 応し、生産量の増加を図る。 ②ライスセンターの新設により、調整作業を効率化 し、労働生産性の向上を図る。 ③高性能コンバインの追加導入により、刈取作業を効 率化し、労働生産性の向上を図る。 ④高性能コンバインの追加導入により、適期刈取によ る品質向上、生産規模の拡大に対応する。 ⑤生産量の増加に伴い、販売価格の安定している契約 栽培の割合を増加し、所得額を向上する。	R1 契約栽培の 割合10%以上の 増加かつ 50%以上と する【34.3%】	R1 契約栽培の 割合23.1%	34.2 ha	189.2 t	43.7 t	R5 契約栽培の 割合57.4%	R5 契約栽培の 割合40.8%	45.9 ha	267.2 t	170.5 t	R5 契約栽培の 割合40.8%	32.4 ha	147.9 t	60.4 t	構成員の水稲契約 栽培の割合につ いて、令和元年と令 和5年度を比較し て10%以上増加し ているか確認す る。主食用米及び 飼料用米につ いて、契約書、領収 書等をもとに契約 栽培数量を把握 し、全収量で除 した総生産量よりJA以外 との契約栽培割合の増加 を検証する。	71.1%	契約栽培割合について、当 初承認があり、実需者とな らないJAとの契約に注力し て増加させていた。(R5ま で) R6より実需者となるJA 以外との契約栽培割合を増 加させているが、栽培面積 について当初想定していた 集約化が想定どおりに進ま ず、総生産量も目標として いた数値とならなかった。 また、総生産量が過少で あったことにより、JA以外 との契約栽培割合の増加が 鈍化した。 今後は、出荷先の兼ね合い もあがるが、農地集約により 目標面積を達成し、増加し た総生産量によりJA以外 との契約栽培割合の増加を推 進するよう指導していく。	栽培面積と契約栽培米の割 合ともに目標を達成してい た。今後は面積の 拡大を支援するとともに、 引き続き契約栽培割合が増 えるよう、高品質米生産の ための情報提供等を通じて 支援していく。	R6評価	
大蔵村農 業再生協 議会	7	大蔵村	そば	乾燥調製施設の新設により、生産規模の拡大に対応 し、生産量及びそばの契約栽培割合の増加を図る。	R1 契約栽培の 割合10%以上の 増加かつ50% 以上【50%の増 加】	R1 契約栽培の 割合0.0%	92.6 ha	80,955 kg	0.0 kg	R4 契約栽培の 割合50.0%	R5 契約栽培の 割合36.8%	94.5 ha	61,434 kg	30,717 kg	R5 契約栽培の 割合36.8%	80 ha	45,247 kg	16,650 kg	農事組合法人と実 需者との間で締結 された売買契約書 により、契約栽培 の割合を検証す る。	73.6%	コロナ禍明けで飲食業者で の需要が伸びず取引が増 加せず、目標達成とはな らなかった。 今後は取組主体自らが、増 加傾向にある中食産業の需 要や新規実需者の需要を 把握し、新規契約に向け て取組むことで、販路拡大 し、目標達成するよう指導 していく。	コロナ禍の需要回復の遅れ から目標未達成となった。 また、令和5年度は8月か らの異常高温により収量低 下が生じている。今後は、 高湿対策でマニュアルを 活用した技術の周知を図 るとともに、販路拡大に向 け、取組主体自らが需要を 把握し、新規契約に向け て取組めるよう支援してい く。	労働生産性 の水稲と セット	R6評価
米沢地域 農業再生 協議会	5	上郷	醸造用 ぶどう	①棚資材を導入し、醸造用ぶどうの棚栽培による生 産。 ②置賜管内の醸造業者と事前契約し、原料ぶどうの安 定供給による産地形成。 ③安定した高品質生産に向けた栽培方法の普及	H 30 契約栽培の 割合10%以上 の増加かつ 50%以上 【100.0%の増 加】	H 30 契約栽培の 割合0%	0 ha	0 t	0 t	R5 契約栽培の 割合100%	R5 契約栽培の 割合100%	1.0 ha	7.0 t	7.0 t	R5 契約栽培の 割合100%	1.12 ha	4.8 t	4.8 t	R4年度より収穫出荷できる ようになり、R5年度は出荷 できる数量が増えた。そし て、出荷全量はJAを通して ブナリーへ納入した。 令和5年度は、一部未成木 の樹があり、また、猛暑の 影響等により目標出荷量を 達成することができなかつ た。 今後の天候にもよるが、R8 年度にはR5年度に新植した ぶどうの収穫が可能になる と思われ、R12年度はほと んどのぶどうが成木になる ことが見込まれる。また、 本格的な収穫が可能となる が、近年温暖化傾向にある ことから農業技術普及課 やJA など関係機関と連携 しながら、徹底した栽培管 理の指導を行い、目標出荷 量の達成を目指す。	100.0%	栽培契約書等から 検証	R5年度は前年度からさらに 収穫量が増加し、全量契約 先へ出荷を行い、契約栽培 割合の増加を達成した。 一方で、出荷量については 目標には達していない。一 部未成木の樹もあるため、 成木化に伴う更なる出荷量 の増加に向けて、適正管理 を行うよう支援していく。	R6評価	

(5) 農産物輸出の取組（直近年の輸出実績がある場合の輸出处荷量又は出荷額の10%以上の増加、新規の取組の場合又は直近年の輸出実績がない場合の総出荷額に占める輸出处荷額の割合5%以上又は輸出处荷量10トン以上）

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状												目標												実績												事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
						現状				目標				実績				現状				目標				実績																				
						年度	面積	総出荷量又は 総出荷額	輸出向出荷量 又は出荷額	年度	面積	総出荷量又は 総出荷額	輸出向出荷量 又は出荷額	年度	面積	総出荷量又は 総出荷額	輸出向出荷量 又は出荷額	年度	面積	総出荷量又は 総出荷額	輸出向出荷量 又は出荷額	年度	面積	総出荷量又は 総出荷額	輸出向出荷量 又は出荷額																					
寒河江市 農業再生 協議会	5	寒河江地区、西根地区、柴橋地区、高松地区、白岩地区、靛蘭地区、三泉地区	果樹（さくらんぼ）	露地栽培から雨よけ施設栽培へ移行することにより高品質・安価なさくらんぼの安定生産による輸出用さくらんぼの供給、輸出先における品質のPR等販売促進活動実施と新たな輸出处荷量の確保	輸出向出荷量の10%以上の増加 【254.5%増加】	H30	560kg	24.52 ha	123,300 kg	560 kg	R5	1,985kg	36.46 ha	189,000 kg	1,985 kg	R5	985kg	36.61 ha	191,836 kg	985 kg	輸出仲介事業者からの発注書等	29.8%	肥料や資材高騰等に伴う販売価格の上昇により、取引先の発注量が抑制され輸出处荷量の目標達成とならなかった。整備した雨よけハウスを活用しながら適切な栽培管理等につとめ、収穫量の安定確保及び高品質化を図り、着実な輸出处荷確保に取り組むよう指導していく。また、事業計画時に2か国に増加させたものの、価格とのバランス等により輸出处荷量の増加の取組を実施しながら、需要に応じた供給を行い、令和6年度の輸出处荷量の目標達成に向け取組を推進していくよう、継続して指導していく。	地域協議会と連携して、収穫量の安定確保に取組むとともに、輸出处荷との価格交渉等、需要を伸ばす取組みを強化するよう指導していく。	R6評価																					

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状										目標										実績										スマート農業推進特 年度 導入・定着の取組 の実施内容	地域(県又は国を含む) の価格(販売単価)			補正係数	価格補正 後の実績	事後評価の検証方 法(※定量的な検 証ができるこ と。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	評価
						現状					目標					実績					事業実施 前年度	目標準年度	単 位																							
						年 度	面積 単 位	生産量又は 出荷量 単 位	価格(販売単価) 単 位	労働時間 単 位	年 度	面積 単 位	生産量又は 出荷量 単 位	価格(販売単価) 単 位	労働時間 単 位	年 度	面積 単 位	生産量又は 出荷量 単 位	価格(販売単価) 単 位	労働時間 単 位				年 度	面積 単 位	生産量又は 出荷量 単 位	価格(販売単価) 単 位	労働時間 単 位																		
鶴岡市 農業振 興協議 会	19	藤島	大豆	・高性能機械(ハイクリプ ム)をリース導入して除草剤 散布の作業効率の向上を図る ・作付圃場の集約や輪作の実 施により生産拡大を図る	労働生産性 の10%以上 の向上 【10.2%向 上】	R2	2.087円/h	23.48 ha	28.167 kg	9.727 / 1 0a	h/ 10 a	R5	2.299円/h	26 ha	31.193 kg	9.727 / 1 0a	h/ 10 a	R5	2.429円/h	26.1 ha	44.379 kg	55 / kg	##### h		172	円/ kg	158	円/ kg	1.089	2.640円 /h	税務申告におけ る収支内訳書及 び作業日誌等の 関係資料による。	260.8%	目標を達成した。	機械導入による作業効率 の向上及び大豆生産量増 により目標を達成した。 今後も経営安定に向けて 指導していく。	R6評価											
鶴岡市 農業振 興協議 会	20	柳引	水稻	・高性能機械(田植機)を リース導入して作業効率の向 上を図る ・農地の貸借等による農地集 積と規模拡大を行う	労働生産性 の10%以上 の向上 【10.3%向 上】	R2	8.941円/h	28.95 ha	158.400 kg	123.393 / 1 0a	h/ 10 a	R5	9.863円/h	30.00 ha	159.300 kg	123.393 / 1 0a	h/ 10 a	R5	11.312円/h	31 ha	507 / kg	229 / kg	10.28 h/ 10 a		195	円/ kg	211	円/ kg	0.924	10.435	決算報告書及び 作業日誌等の関 係資料による。	162.0%	目標を達成した。	機械導入による作業効率 の向上及び大豆生産量増 により目標を達成した。 今後も経営安定に向けて 指導していく。	R6評価											

